

## 山行 報告【定例】 《大宮岳稜会》

四阿山 2354m （長野県真田町）

日時：令和6年（2024年）3月24日（日）日帰り 晴れ 記>田島

メンバー：L：田島、S：久保、山崎、金澤、東海林 合計 5名

行程：5：00 北本>7：40 四阿山登山口（元あずまや高原H）東松山IC～上田菅平IC

8：00 四阿山登山口→9：47 里宮→12：20 四阿山→休憩→12：42 四阿山→14：09 里見→

15：06 四阿山登山口 行動時間 7 時間 06 分

装備：ヘッドランプ、防寒着、コンパス、地図、非常食、スマホ、アイゼン（チェーンスパイク）、ストック、スパッツ、サングラス、テルモス、ツエルト

感想：3月に入り三寒四温のなか好天に恵まれた1日であった。前日の降雪によるラッセルも危惧されたが、トレースもしっかりしており快適な残雪登山となった。

登山口から雪があり気持ちが高まる。別荘地を抜けるとダボス牧場の雪原の白色と四阿山ブルーの天色が鮮やかな景色を生み出している。里宮までの斜度の少ないなだらかな雪道を久保さんをトップに景色を楽しみながら登る。里宮の鳥居は半分位埋もれている。二拝二拍手一拝し通り過ぎる。湿雪中をツボ足にてどんどん高度を上げて行く。途中山崎さんがチェーンスパイクを装着したが、右足の靴底だけが団子になり爪が効かない。前後が逆だったためと気づいたが、その程度でこんなに雪の付きが違うのかと山道具の微妙な造りに感動する。気温が高く衣類調節をしながらも「あついなあ〜」と声が出してしまう。振り返れば近くに浅間山、遠くに北アルプスの全貌が見える。長野側から富山側に向かい山の積雪が多くなっており自然の雄大さを感じる。山頂直下の急登を登りきると上州祠は雪に埋まっており、信州祠のみ姿を現していた。薄いベールが空を覆う薄雲が頭上に現れ、幻想的で何か穏やか気持ちにさせてくれた。山頂での景色はよかったが風が強く記念撮影をして早々に下山。3時過ぎには登山口についた。終日春光に恵まれ、春らしい空と四阿山らしい景色が見られて楽しい山行になった。

